

うらほろ

2023

7

No.681



豊北牧場へ入牧の様子

第48回通常総会 全議案承認

6月7日、午前9時30分より浦幌町中央公民館にて第48回通常総会が開催されました。

当日は組合員262名中、本人出席88名、委任状出席9名、書面出席90名の合計187名の正組合員出席のもと開会が宣言されました。

林組合長より「昨年は不順な天候が続く中で、馬鈴しょ、甜菜が大きく影響を受ける結果となりました。そうした中で小麦におきましては、生産者皆様の総力で収穫を進めて頂き、製品率も非常に高く確保させていた、だくことができました。畜種におきましては、生乳生産抑制へのご協力をお願いしなければならず、加えて個体販売価格の暴落・低迷とご苦勞をいただいた1年であったと思えます。そうした中で、農畜産の総取扱高は、過去最高となりました令和3年には残念ながら届きませんでした。令和3年には、それでも史上2番目となります13.9億円を超える実績を確保させて頂きました。これもひとえに組合員皆様の日々の営農努力の積み重ねと高い生産技術の励行、また本日ご臨席いただいたとおり、行政をはじめとして関係機関の皆様からの経営基盤強化に向けてのご支援、ご指導と長年にわたる積み重ねが、

本町の生産基盤を構築いただいているものと、改めて皆様方のご尽力、お力添えに敬意と感謝を申し上げます」と開会挨拶を行いました。

続いて、町内各関係機関を代表して浦幌町長 井上亨氏、管内各関係機関を代表して全国共済農業協同組合連合会北海道本部帯広支所長 赤岡正樹氏が祝辞を述べました。

議長団には、相川農事組合の小川貞治氏と吉野農事組合の山本泰啓氏が選任され、令和5年度事業計画の設定など全6議案を審議し、すべて原案通り可決されました。

最後にJAつらほろ青年部長 背戸田達弥氏より決意表明がなされ、総会は終了しました。

また、今総会前には十勝管内初となる参与制度導入にあたり、静内の鳴海雅衣氏と常室の竹村恵美氏への委嘱状授与が行なわれました。



挨拶する林組合長

令和4年度事業実績

総務事業

出資増口により出資総額11億7千8百万（前年比100.9%）、純資産は30億3千8百万円（前年比100.6%）となりました。また、固定資産は、廃油ヒーターの導入や、コンバイン、ポテトハーベスターの更新、その他消耗が著しい施設整備や周辺整備などの計画に基づき設備投資を行ない12億4千万円（前年比95.3%）となりました。

自己資本比率は前年比1.34ポイント減少し21.62%、固定比率は前年比1.0ポイント増加234.7%となりましたが、引き続き政令基準を上回る健全な財務状態を確保することができました。

信用事業

融資 貸出金は手形貸付金が2億5千3百万円（前年比8千5百万円増）、証書貸付金30億6千7百万円（前年比1億5千3百万円増）となり、貸出金は34億8千1百万円（前年比2億4千8百万円増）となりました。

貯金

金融緩和と政策が継続される中、調達コストの削減を図りながら柔軟な顧客サービスの提供に取組みましたが、令和4年の作柄と生産資材等の価格高騰の影響を受けた農家経済は厳しく、営農者が利用する営農口（組合員勘定）で支出が計画を大きく上回り、要求払貯金

は普通貯金と別段貯金が大きく減少し、総貯金残高は194億4千3百万円（前年比3億9千5百万円減）となりました。

うち、当座性貯金は77億3千1百万円、定期性貯金は87億6千3百万円となりました。

共済事業

長期共済は満期到来等により、期末保有高（保障金額）は317億3千7百万円（前年比97.2%）となりました。

推進総合実績で計画対比106.5%、重点施策で計画対比109.1%の達成となりました。

購買事業

生産 ロシア・ウクライナ情勢の悪化を背景に原材料の価格上昇などにより各種営農資材の価格が高騰しておりますが、各種奨励策の実施や肥培管理の提案推進による生産コストの低減と予約購買による安定供給に努めた結果、取扱高は前年対比144.8%となりました。

農薬では、7月からの多雨により病害発生リスクが高まり防除作業情報の適期発信に努め早期予約とりまとめや大型規格の拡充により同108.2%となりました。

飼料では原料価格や海上運賃が大幅に上昇し、外国為替が円安で推移した影響もあり年間で10千円を超える値上げとなりましたが、直近では原料・海上運賃共に軟調となり、配合飼料価格は一時に比べ値下げで推



参与就任の挨拶（左から竹村さん、鳴海さん）

また、油類
取扱量ではガ
ソリンで前年
対比100・
5%、軽油で
同101・2
%、灯油で88・
7%、重油で
36・6%とな
り、総取扱量
で同72・8%
の6、368
klの実績とな
りました。

農機 農機整備事業の年間取扱高は、農機・ト
整備 ラクター等補助事業を利用した高額取引が
減少したため、前年対比60・5%となった他に、
車両については大型車両の供給増加により同13
6・1%、修理資材は部品代や外注修理代の高騰
により同112・6%となりました。
また、年間取扱台数は、車検・一般整備は例年
並みだったものの、播種時期の農機具やトラクター
の修理が減少し、全体として同94・6%の実績と
なり、農機整備事業の総体取扱高は同76・5%の
8億1千万円となりました。

燃料 ロシア・ウクライナ侵攻による影響等で
事業 燃料油価格は高止まりが続き、油類取扱高
は、ガソリンで前年対比103・5%、軽油で同
104・7%、灯油で同97・7%、重油で同39・
0%となり、総体取扱高では同85・0%の7億7
千9百万円の実績となりました。

移し同116・2%となりました。
生産資材では、展示即売会の開催や各種資材の
訪問推進による提案や取りまとめを実施しまし
たが、酪農資材や大型設備品の供給減少により同91・
6%となり、生産資材事業の総体取扱高は32億9
千9百万円（同118・1%）となりました。

販売事業

農産 小麦は前年秋の播種作業が順調に進み、
越冬前の生育量は前年を上回ったものの、
11月の降雨で雪腐病の防除効果低下が懸念されま
した。

春以降の生育も順調でしたが、出穂から開花時
期にかけて寡照となり生育のばらつきが散見され
ました。7月以降は平年以上の気温が続いたこと
と、登熟期の多雨による根痛みにより、成熟は平
年より5日早まり一部赤かび病も発生しましたが、
収穫作業は順調に進み、細麦傾向だったものの収
量は前年並みとなり前年対比81・0%の583kg
/10aで全量1等Aランクでした。

豆類は、大豆・小豆の播種作業は順調に行なわ
れましたが、菜豆類は5月末の降雨の影響で平年
より遅れて終了しました。その後は、低温寡照に
より一部ほ場では出芽の遅れや初期成育の停滞が
見られました。しかし、6月の高温により生育は
回復し、開花時期も平年並みとなり土壌水分もあつ
たことから着莢数は平年を上回りました。全体と
して成熟期は平年よりやや早く、収穫作業は順調
に進み、大豆・菜豆ともに子実重は前年並みとな
りました。しかし、小豆に関しては百粒重が平年
より軽く、小粒傾向となりました。

収量は小豆で、前年対比89・7%の217kg/
10a、金時が同156・5%の180kg/10aと
なり、手亡は同115・3%の233kg/10aで
した。大豆は播種前契約214haで前年対比10
5・4%の面積となり収量については240kg/
10aでした。

馬鈴しよについては、植付作業は前年並みに始
まり、降雨により中断はあったものの萌芽は順調
でしたが、多雨により8月以降徒長による倒伏や
湿害の影響を受ける圃場も散見されました。また、
一部では腐敗の発生も見られ、芋数は多いものの
1個重は前年より小さく収量も下回りました。澱粉
原料用品種では3,001kg/10aと前年対比72・

3%の収量となり、ライマン価は前年より0・42
%低い20・35%でした。

てん菜は、播種作業（直播栽培）や移植作業は
前年並に行なわれました。4月末から5月にかけて
の強風及び少雨の影響により移植栽培で活着が
やや不良となりましたが、その後の降雨もあり良
好な生育となりました。

その後は茎葉の生育及び根部肥大は概ね順調で
ありましたが、6月以降の断続した降雨により湿
害及び病害の発生が見られ、根重・糖分ともに平
年を下回りました。収量は前年対比72・5%の
5,101kg/10aと大きく下回り糖分も前年を
下回る15・4%でした。

営農サポート 春耕作業は、雨が少なく風の強
ましたが、作業は順調に進みました。

1番牧草収穫作業は雨天の影響もあり、計画よ
り1週間遅れで始まりました。他町村との比較で
浦幌は順調に作業が進み、全体の収量としては平
年並みに近い状況でした。また、2番牧草と堆肥
散布では若干の作業遅延が生じたものの、業者対
応により解消することができました。

食用・加工馬鈴しよ収穫では雨の間隔が狭かつ
たため、圃場条件悪化により稼働期間が過去最長
となる10月16日に終了することとなりました。

秋期作業では、堆肥散布作業で委託業者を導入
したことにより、耕起・砕土作業が順調に進み、
最終での心土破碎については計画対比10%増、ハー
フソイラについては20%増と大幅に伸ばすことが
でき、計画作業全体としてはバックホーでの作業
を12月15日終えたところで概ね作業終了となりま
した。

事業取扱高に関しては、施工料で前年比108・
1%、利用料で前年比105・9%の実績で、全
体では前年比106・6%の2億8千5百万円と
なりました。

畜産

需給状況においては、新型コロナウイルス感染症の影響による需要低迷に拍車をかけるようにロシアのウクライナ侵攻による物価の高騰のあおりを受け、生産コストも上昇し、畜産経営の危機的な状況は大手企業の経営破綻による個別販売価格の暴落といった事も巻き起こし、その中で生産抑制は非常に苦しい状況を招いており、酪農経営は危機的な状況から未だに脱しておりません。4月分受託乳量からは乳代単価の値上げが実施されますが、乳製品価格の上昇は受給状況に悪い影響を与えることが懸念され、引き続き厳しい年となることは想像に難くありません。

このような中、生乳生産の基盤を維持しながら抑制にもご尽力をいただき、令和4年度累計出荷乳量は55,008t、前年対比で98・5%となりました。

酪農振興対策に係る生乳増産対策奨励は生産抑制実施から取組対象外となったため、良質生乳生産対策の強化、搾乳機器衛生対策として乳温遠隔監視システムの基盤更新への助成、生乳集荷前検査による抗生物質事故防止対策やバルククーラー、ミルクカーの全戸点検、バルク乳モニター検査、乳質改善に係る原因菌検査を実施しました。

肉牛生産振興対策では良質繁殖雄牛の維持・増頭と改良を図るため、肉用牛生産基盤強化対策事業を実施し、各組合員が繁殖牛の導入、自家保留などによる増頭に取り組み199頭が事業対象となりました。その他の助成対象頭数は繁殖牛の導入20頭、自家保留125頭、肥育素牛の導入17頭、育種価未判明牛の導入13頭という実績となりました。

厳しい経営状況のなか導入頭数は20頭の減、自家保留頭数5頭減となりました。

畜産物取扱高では補給金を含めた乳代で57億4千6百万円で、乳用牛個体価格の安値推移で1,198頭、2億3千6百万円、肉牛は6,815頭で28億8千3百万円となり、馬を含めた総取扱高は88億7千2百万円となりました。

剰余金処分案

令和4年度の当期末処分剰余金は1億4千4百万円、そのうち出資金配当として払込出資金の0・5%相当の579万円、肥料・農薬・飼料などの利用に対する事業分量配当金に6千万円を充当、利益準備金・任意積立金の内部留保に7千1百50万円、次期繰越剰余金として7百10万円とすることで可決されました。

令和5年度事業方針

本年度事業計画の各部門の重点的取組事項として、信用事業では組合員勘定の利用を推進し、経営の強み・弱みを可視化し容易に把握できるようにするとともに、希望する組合員に対して経営相談やフォロワー体制を構築し農家所得向上のための経営支援に努めてまいります。

農産事業では生産基盤の強化による生産性向上において、基幹品目の継続的な安定生産の取組みとして、澁原馬鈴しょの病害虫対策や収量向上に向けた施肥試験や栽培技術情報の提供を行なうほか、大豆の高収量・高品位獲得に向け栽培データ収集や情報発信に取り組みます。また、継続的な畑作農業の展開に向けて、労働力軽減と支援体制の確立を目指し、人材派遣会社等との連携を強化してまいります。

畜産事業では酪農生産振興対策として各種助成事業を継続するとともに、引き続き飼料設計による生乳生産性の向上と乳質に対する意識高揚を図ってまいります。肉牛生産振興対策としては、高い生産性が期待できる多様な血統の導入により牛群の改良に努め、持続可能な生産基盤の強化を図ります。

生産資材課では、高騰する肥料対策として土壌分析に基づく高窒素肥料銘柄の普及推進とコスト低減に資する施肥相談体制の強化を図りさらに分析に係る助成対策を継続いたします。また、生産資材全般において、関係機関と価格動向などの情

報共有を図り、需要に沿った各種営農資材のとりまとめ及び展示に努めてまいります。

総務管理部門では引き続き予算統制による組合財務の健全化に努めるとともに、業務のシステム化を加速させます。具体的にはJACoネット導入による情報共有やペーパーレス化の推進などを想定しています。企画振興課では組合員の相互交流機会としてコロナ禍で開催が見送られていた第10回組合員家族交流会の開催の他、地域貢献活動としてJAUらほろ感謝祭などを企画します。

当JAUは令和4年12月JAUを取り巻く環境の変化や組合員の多様化が進むなかで、次世代のJAU運営を担う人材を確保するため「参与設置規程」を制定いたしました。

本格的な人口減少社会を迎える中で、女性の活躍により担い手の確保や多様な視点による生産性の向上を通じて地域の持続可能性につながることを期待されます。

また、本年は第10次農業振興計画及び第3次JA中期計画の初年度であり「10年構想」に向けたスタート年となります。組合員各位がJAUに集結し、同じ方向を見据え前に進んでいけるよう取り進めてまいります。

最後になりますが、本年も農作業事故、災害がなく組合員の努力が報われる1年であることをご祈念申し上げます。



議長に選任された
山本氏（左）と小川氏（右）

浦幌町農民連盟税務研修

浦幌町農民連盟執行委員（渡部順一執行委員長）は6月6日、7日の日程で21名の参加のもと税務研修を実施しました。

1日目は札幌市苗穂にある雪印メグミルク㈱を訪れました。ガイドツアーでは、「酪農と乳の歴史館」において近代酪農と会社の歴史や創業当時の実際に使用されていた機械・道具類、バター・チーズの製造工程のミニチュアが展示されており、見学しながら説明を受けました。その後、過去に製造された製品のパッケージや年代物のポスター、スキー部コーナーの展示を見ながら工場に移動し、パック詰め用の牛乳製造作業を見学しました。

二日目は福山醸造㈱で醤油の醸造を見学しました。担当者と工場長から醤油の歴史等の説明があり醤油は1300年前には醬（ひしお）と呼ばれる調味料が原型のものが存在していて、820年前に遣唐使が味噌を造り、そこで出来た汁で醤油に近い物ができ、410年前の江戸時代

に本格的な生産が始まったそうです。参加者は、説明を熱心に聞き入り、見学していました。



福山醸造㈱での研修の様子



集合写真

第3回 理事会

6月8日、役員室において理事会を開催し、議案3件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・役員報酬の支給について
- ・役員賠償責任保険契約の締結について
- ・業務報告書の行政庁提出について

○報告事項

△総務部▽

- ・人事の発令について
- ・職員の定期採用計画について
- ・JAうらほろ女性研修交流会の参加状況について

△信用部▽

- ・内部管理態勢にかかる指導要綱
- ・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について

△営農販売部▽

- ・理事に対する資金の貸付に係る報告について
- ・農作業進捗状況について
- ・受託作業進捗状況について

第4回 理事会

6月27日、役員室において理事会を開催し、議案4件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・浦幌町森林組合への出資増口について
- ・令和4年度決算に係る監事監査実施結果に基づく回答について
- ・固定資産の取得について
- ・農産倉庫照明LED切替工事
- ・固定資産の取得について
- ・洗車機

○報告事項

△総務部▽

- ・組合員の脱退並びに死亡届について
- ・第10回組合員家族交流会開催案内について

△営農販売部▽

- ・農作業進捗状況について
- ・令和5年度作付面積作物別集計表について
- ・受託作業進捗状況について
- ・生乳生産動向について
- △その他▽
 - ・内部監査報告について
 - ・JAうらほろ役員研修視察（各専門委員会合同）について

人事異動

令和5年6月1日付【業務職採用】

- ・上浦幌支所農産課農産係 高田 大地
- ・農民連盟出向 佐藤 こずえ

青年部活動報告（背戸田達弥部長）

子ども農業体験学習

6月6日、子ども農業体験学習を浦幌小学校（鈴木洋孝校長）の3年生28名を対象に開催しました。

今年ホツカイコガネとメークイン、白花豆を植え付けしました。

川畑担当理事から「天気も良く、気温も上がっているので水分補給をしながら頑張ってくださいませ」と挨拶があり、2チームに分かれて馬鈴薯と豆それぞれ1畦ずつ作業を行いました。

盟友の説明を聞いて黙々と作業する児童や、目の前で見る大きなトラクターに大興奮の児童の前に、背戸田部長が機械の説明や様々な質問に答えるなど、終始和やかな雰囲気で作業を終えることができました。

収穫作業は9月下旬を予定しており、それまでの管理作業は児童たちで行なうほか、収穫前に白花豆に関する勉強会も企画しています。



白花豆の植え付けの様子



シンプルバレー大会の様子



集合写真

下り線ブロック夏期スポーツ交流会

6月9日、下り線ブロック夏期スポーツ交流会（主催：当JA青年部）を浦幌町総合スポーツセンターにて盟友総勢42名で開催しました。

今年はいにくの雨模様で当初予定していたパークゴルフ大会を断念し、室内でシンプルバレー大会となりました。どの試合も白熱したプレーで盛り上がり、最終成績は豊頃町農協青年部が全勝で優勝しました。

その後は懇親会を行ない、急遽相撲大会を開催するなど終始良い雰囲気の中、各単組の盟友と交流を深めました。

青年部勉強会

6月27日、農業会館大会議室で行なわれた、JAうらほろ理事研修に青年部盟友10名が参加しました。

当初は、理事会の活動内容やJAうらほろの現状と今後の展望についてなどをメインにJAうらほろ理事に講師を依頼し、勉強会の開催を予定していましたが、林組合長をはじめとした常勤理事のご厚意により理事研修へ参加させていただくことになりました。

研修では、北海道農業協同組合中央会帯広支所の大関翔太郎主幹に農協経営を巡る情勢についてやSDGsの達成に向けてできることなどをご講話して頂きました。

背戸田部長は「農業情勢、SDGs共に興味深い内容だった。自分たちが担う役割をしっかりと把握し、フードロスのない社会の実現と地域貢献を大切に、今後も活動していきたい。」と感想を述べていました。



理事研修へ参加した青年部盟友の様子

1 番牧草収穫開始

営農サポート課による1番牧草収穫作業が6月12日から22日に行われました。

今年の受託面積は709・6haで、3班体制での収穫作業は天候に恵まれ、中断なく順調に進みました。

収量・品質については、干ばつの影響が懸念されましたが、平年並みとのことでした。



バンカーサイロへの荷下ろしの様子



収穫風景

第56回 浦幌町家畜共進会最終成績

(出陳者名敬称略)

○乳牛の部

区分・順位	名 号	出陳者	住 所
未経産の部	最 高 位	ミンセント ラムダ デボラ ピアーズ	佐々木 美穂子 トトツキ
	準 最 高 位	サニーライズ SAS ピーマー リアン	㈱サニーライズ 活 平
経産の部	最 高 位	SアンドSラムダファーストリアライズET	㈱サニーライズ 活 平
	準 最 高 位	LH SSI マージヤ モントレー	(有)ランドハート 大 平
第1部(未経産・8ヶ月以上10ヶ月未満)	1	ミンセント ラムダ デボラ ピアーズ	佐々木 美穂子 トトツキ
第2部(未経産・10ヶ月以上13ヶ月未満)	1	サニーライズ SAS ピーマー リアン	㈱サニーライズ 活 平
第3部(未経産・13ヶ月以上16ヶ月未満)	1	サニーライズ TL キングドツグ デリア	㈱サニーライズ 活 平
第4部(未経産・16ヶ月以上18ヶ月未満)	1	ハイブリット アルタ シーガル エンド	㈱デリー・ブルーダー 朝 日
第6部(経産・36ヶ月未満)	1	SアンドSラムダファーストリアライズET	㈱サニーライズ 活 平
第8部(経産・48ヶ月以上)	1	LH SSI マージヤ モントレー	(有)ランドハート 大 平

○肉牛の部(黒毛和種・雌)

区分・順位	名 号	出陳者	住 所	
最 高 位	まみ	高 田 哲 雄	宝 生	
	準 最 高 位	かななひめ	高 田 哲 雄	宝 生
第1部(未経産・6ヶ月以上10ヶ月未満)	1	まみ	高 田 哲 雄	宝 生
第2部(未経産・10ヶ月以上15ヶ月未満)	1	かななひめ	高 田 哲 雄	宝 生
第3部(未経産・15ヶ月以上26ヶ月未満)	1	ゆりわか	㈱ハンドインハンド	貴老路
第4部(経産)	1	ひなろ	山 田 卓	稲 穂

○馬の部

区分・順位	名 号	出陳者	住 所	
最 高 位	プリンセスホクエイ	松 村 竜 幸	美 園	
	準 最 高 位	イツキルディニクニ	松 村 竜 幸	美 園
第3部(雌・2才)	1	昭 姫	笹 島 秀 昭	貴老路
第4部(雌・仔付・3才以上)	1	プリンセスホクエイ	松 村 竜 幸	美 園
第5部(雌・3才以上)	1	イツキルディニクニ	松 村 竜 幸	美 園

6月1日、第56回浦幌町家畜共進会(主催・浦幌町家畜共進会協議会)が共進会場(帯富)で開催され、乳牛の部19頭、肉牛の部22頭、馬の部5頭の計46頭が出陳されました。

審査員は、STジャパン株式会社の伊藤耕史郎氏(乳牛の部)、十勝農業協同組合連合会の千葉拓哉氏(肉牛の部)、

家畜改良センター十勝牧場の田中翔子氏(馬の部)にお越しいただき、各部門ごとに審査が行われました。

また、会場内ではうらほろ和牛の販売会が実施され、多くの方々が購入していました。

なお、出陳された家畜の成績は左記の通りとなっております。

第56回浦幌町家畜共進会



品評会の様子

新パズル(7月)

カ	ア	ア	リ	マ	ホ	タ	ル	ミ
ニ	ア	マ	ジ	ク	ン	ー	プ	ス
サ	オ	コ	ヨ	ア	ハ	リ	イ	ト
ン	ゾ	ウ	ブ	リ	ン	ー	マ	ブ
カ	ラ	イ	セ	ー	フ	タ	シ	ラ
ポ	ガ	ン	バ	レ	ル	ー	ヤ	ク
ポ	ボ	タ	ラ	ン	エ	キ	ガ	ズ
ン	ル	ー	ヒ	イ	ハ	ー	サ	カ
タ	オ	ー	バ	ン	ズ	シ	ア	オ

あおそら あさが やしまい
 青空、阿佐ヶ谷姉妹、アジアン、
 あまこう うぶ
 尼神インター、UBU、エルフ、
 オアシズ、おーばんず、おかずクラブ、
 かに
 迦爾さん、ガンバレルーヤ、スプーン、
 ターリーターキー、たんぽぽ、T O Y、
 ぱーん、ハイヒール、ハリセンボン、
 ほうよう らんらん
 北陽、マリア、爛々

□解き方 先月の男性お笑い芸人につづき、今月は女性コンビのお笑い芸人編です。

※ご意見ご要望等がございましたら、企画振興課教育情報係までお問い合わせ

せ下さい。(TEL:578-7068)

最近では、女性お笑い芸人も増えてきて、女性のみの賞レースも開催されるようになり、テレビで見る機会も多いかと思えます。(解散・改名も含みます)
 残った文字を左上から並べてできる女性コンビのお笑い芸人名をお答えください。

□発表 正解は本紙8月号に掲載します。

マ	ル	セ	イ	コ	カ	ク	オ	イ
ジ	ハ	ナ	コ	マ	ズ	ソ	ダ	ー
カ	ラ	ル	イ	タ	ス	ン	ノ	ボ
ル	イ	タ	ラ	オ	モ	テ	シ	ク
ラ	チ	チ	ー	ウ	モ	ク	メ	ル
ブ	ネ	ド	ヨ	ツ	ユ	ガ	イ	ミ
リ	リ	シ	リ	イ	ギ	ギ	ラ	ヤ
ー	ク	ハ	ゼ	ナ	カ	ガ	ワ	ケ
バ	ナ	ナ	マ	ン	リ	キ	ミ	ギ

6月号の答は
オギヤハギ
 → おぎやはぎ でした

生産資材課 展示会の開催



展示会の様子

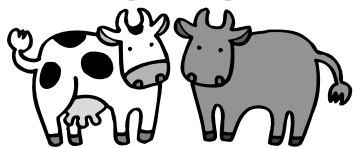


展示された商品

6月13日、本所生産資材店舗にて(株)長谷川熊吉商店(長谷川雅光代表取締役社長)の協力によりマキタ商品の展示会を開催しました。
 今回はインパクトドライバや刈払機、クローラーボックスなど多数の商品をマキタ営業担当者が来場者に説明しました。会場では新商品の展示や実演販売も行われ、来場者の購買意欲を掻き立てました。
 来場者は昨年並みだったものの、会場は賑わっており「今年中にもう1度開催を予定しているので、たくさんの方々にお越しいただきたい」と生産資材担当者は話していました。

ちくさん

情報



詳しくは
宮農販売部
畜産課まで
お問い合わせ
下さい
☎576-4115

◎ホクレン十勝家畜市場

・育成市場（6月15日）（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛	1	135,300	135,300	135,300	198,880

・乳牛市場（6月12日）（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊(ET除)	1	331,100	331,100	331,100	400,747
初妊牛(ET)	0	0	0	0	661,149
経産牛	0	0	0	0	362,879

次回市場 育成牛 7月12日（農協順：8）

乳牛 7月10日（農協順：9）

8月市場 育成牛 8月10日（農協順：18）

乳牛 8月7日（農協順：13）

・肉牛市場（6月7日-22日）（単位：円）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢)	70	994,400	107,800	569,753	695,103
和牛素牛(雌)	48	826,100	12,100	523,944	575,253
繁殖雌牛	21	753,500	375,100	446,390	561,014
廃用牛	13	556,600	139,700	273,138	327,245
交雑牛(去勢)	20	376,200	257,400	320,870	348,442
交雑牛(雌)	45	436,700	216,700	299,860	274,326

次回市場 7月4日・18日

（農協順 黒毛：6・交雑牛：5）

8月市場 8月2日・22日

（農協順 黒毛：10・交雑牛：9）

◎ホクレン十勝枝肉市場（6月市場平均）

（単位：kg/円）

	A-5	A-4	A-3	A-2	平均単価
和牛	2,257	1,985	1,670	1,580	2,139
	AB-5	AB-4	AB-3	AB-2	平均単価
交雑牛	-	1,380	1,240	-	1,312

次回市場 7月1日、7月21日

8月市場 8月5日

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場

7月開催日

4日・7日・11日・14日・18日・21日・25日・28日

8月開催日

1日・4日・8日・10日・18日・22日・25日・29日

◎畜産公社出荷日 7月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

生まれて間もない子牛は、病気に対する抵抗力をほとんど持っていない。母牛からの初乳を摂取することによって免疫機能を保持します。子牛への初乳の給与タイミングと量の基本は24時間以内に4ℓ以上とされていますが、まず6時間以内に2ℓ以上出るだけ多く飲ませます。子牛の腸管からの抗体吸収は出生後の時間経過とともに低下するため、なるべく早く摂取させた方が良くとされています。また、出生直後の子牛はルーメン（4つある胃のうちの第1胃）で餌を消化することが出来ない

類や脂肪分が主なエネルギー源となり。乳牛の子牛は固形飼料を徐々に摂取することによって、ルーメンの消化吸収機能を発達させていきます。哺乳期間中の管理は個別飼養が基本です。他の子牛と接触することで感染症のリスクが高まり、発育の個体差が生じやすくなってしまう。従って、換気や敷料交換、清掃や消毒といった衛生管理と共に子牛の健康チェックはとて重要な作業です。猛暑が続く季節となりましたので、感染症予防と子牛の体調管理を徹底していきましょう。

△初乳の必要性と哺乳管理ついて(乳牛)▽

◎浦幌町の乳牛頭数(搾乳農家)5月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
4,778頭	673頭	5,451頭	2,742頭	8,193頭

◎生乳生産量(5月出荷分)

実績乳量	前年実績対比	4月~5月実績乳量	4月~5月前年対比	経産牛1日1頭当乳量
4,624 t	91.9%	9,089 t	92.8%	31.2kg

◎生乳成分と乳代単価(5月)

項目	脂肪率 %	無脂固形分率 %	単価内訳(円)			合計
			生乳単価	補給金単価	集送乳調整金	
平均						
浦幌町	3.86	8.86	103.18	6.97	2.13	112.28
十勝	3.91	8.80	103.35	6.97	2.13	112.45
全道	3.99	8.78	103.95	6.97	2.13	113.05

※乳代について(令和2年4月分より共販経費控除前の金額を使用しております。)

◎衛生的乳質検査結果(5月)

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3		
浦幌町	111 (94.8)	6 (5.2)	0	96 (89.7)	39
十勝	2,921 (97.2)	80 (2.6)	3 (0.2)	2,677 (92.5)	1,002
全道	13,217 (96.3)	485 (3.5)	12 (0.2)	11,464 (89.0)	4,577

上段は3旬計の件数・下段()は%

不審な回収業者にご注意ください

十勝管内の回収業者を装い、下記の特徴で金物類を勝手に運び出している中国人グループがいるとの情報がありましたので、お知らせいたします。

- ・大体は男女2人組で行動
- ・女性はほとんど話せない日本語で、なんでも「そう・そう」で済ませる
- ・女性が注意を引いている間に、男性が勝手に品物を車に積み込む

盗難防止のため、農機具等の管理には十分お気をつけください



信用部側



総務部側

6月12日に農業会館正面入口両側の花壇を整備しました。
ベコニア、マリーゴールド、インパチエンス、金魚草の4種類の花が植えられ、明るい雰囲気になりました。
今後は気温の上昇と共に満開になり見ごろを迎えますので来所の際は是非ご覧ください。

花壇整備

編集後記

気温も上がり、夏の到来を感じる日が多くなってきました。
6月は青年部行事が3つあり、その中でも子ども農業体験学習では児童たちの人懐っこさと元気いっぱい楽しそうに植付作業をしている様子はとてもうれしく思いました。また、整地を行なったトラクターの会社名を知っている児童が多数いる事には大変驚き、農業が身近にある証拠なのかなと感じました。
これからは夏本番に差し掛かり、気温が高い日が続くと思います。
水分補給をこまめに行ない、農作業事故には気を付けていただきますようお願い致します。

カレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事項
7 / 10	第3回監事会
	監事監査（第1四半期）～11日
19	第10回組合員家族交流会
20	農業委員会総会
21	第5回理事会